

顧客の人事・労務手続きに関わる支援にとどまらず、「従業員満足度（ES）を向上させ、ひいては事業の成長につながるトータルサポートを提案する集団」と、猫田一城代表は同社の強みを説く。一つの会社に対し、メイン営業とサブ営業、事務担当の3人体制でサポートすることもその思いを体现する一つだ。「3人でフォローし合うことでだれが休んでも、迅速に解決に導ける」と話す。創業から5年目の夏、従業員の半数が退職。「足元の自分たちこそESができて

働く時間は本人が決める

いなかった」と反省し、考え方を180度転換。1人採用したことをきっかけに、「働く時間は会社が決めるのではなく、働く本人が決める」働き方を導入。年次有給休暇取得についても分単位で取れるようにした。

2019年に営業パートの求人を見て応募したという田中美樹さんは、現在、小学生と保育園児の2人の子育て中だ。「子どものことで当日になって休まざるを得ない時でも、チャットツールに書くと、みながいいね」を押してくれて、気兼ねなく休める」と話す。こうした取り組みの結果、女性従業員の産休からの100%職場復帰を実現。すべての従業員の働きやすさにつながっている。「おたがいさまやし、おかげさま」の精神が根付き、事業の成長にもつながった6年間の経験を、顧客への提案にも生かそうと考えている。

これから産休を取得する社員にサプライズで行われた安産を祈るパーティー「ベビージャワー」

